



めばえ  
No. 17  
令和5年11月16日  
社会福祉法人  
秋川あすなろ会

一気に真冬がやって来た寒さに、また厳しい寒い時季が必ずくるのだと実感です。それにしても、今年は春先から季候が変です。体調管理には十分気を付けて二年の締めくくりと、新しい年を迎えるために……そんな事を考えると懐かしくなります。日の暮れも本当に早くなりました。夕方、暮れば、子ども達も心なしか着る着かなくなり、夕暮れが静かになります。

送迎中の諸注意、十分に気を付けてまいり共働きで勤務の条件によつては、夕食準備等大変な事は、今も昔も同じでしょうと思ひます。どうか、少しでもゆとりを持って夕食に向い入眠の前に、今日の一日を思い起こすための工夫を。ここに「あのね、今日保育園で〇〇として遊んだよ」のような会話が、生れる雰囲気や定着するよ、やがてお子さんは心優しくたくましい人となる事間違いないでしょう。そんな事を感じ、時間だけは十分にあり身になさ、分けてやれないのが残念と思ひ、メンを取りました。

実は、人生の半分を常勤働きで暮らした。最初から終わりまで、多忙な毎日、元気な時も病いの時も、あまりテレビや世間話を耳にする事も少なく、仕事中心だった事を痛感しています。

唯一学校のPTA、父母会で関わった事が世間とつながりがあって、人並み世間話が通じるなあ……視野のせまさに驚いて、います。(特に芸能人の話題等々です)

今は、よくテレビも見ます。勉強になります。

人の体は人のために役立つようにする

自分の手で自分の背中にはかけない。だから孫の手という物があるのです。人間の体は人の為に人助けをするように出来ています。

こんな講話を先日聞きました。目も耳も口も鼻もすべて後向きに出来ない。向い合って助け合えば、数倍も力が大きく、強くなる。

だから人は支え合う事が大切で、それをあたいた難しい事ではなく、日常生活の中で、家庭の中で、職場の中で、ほんの少しだけ気に掛けてやる。そんなことは掛け、大丈夫が必要は？と、ゆくり、優しく講話が続く中で、

この会にささぐ下されたのも、子育て中知り合った仲間だと思ふと、若い頃の付き合いは大切だったなあと思ひます。

みなさんは友人と言えぬ人が何人位？  
時には、半年を言えぬ友もいろいろあります。仕事も大事、子育ても大事、<sup>自分に</sup>自分も大事を、加えましょう。

笑い合う友がいて、夢をみに時どど、元気で電話してみんな友がいる事もいいです。……と思ひます。沢山でなくても。

講話を聞きながら、人は人の役に立つための背中、人に助けてもらうための自分の手、かけないのですね。納得した数時間でした。

歳を重ねると、失なう事、出来なくなる事が多いのが事実です。悲しいかな、とうにもならないと思ひますが、楽しい事もあります。

子ども叱るな来た道だ、年寄り笑うな行く道だ、誰が言ったか、本当です。

またまた、井岸の独リンとひした。